

# 初 年 次 教 育 学 会

ニュースレター 第 4 号

Japanese Association of First Year Experience at  
Universities and Colleges

〒921-8501  
石川県野々市市扇が丘 7-1  
金沢工業大学 藤本元啓研究室内  
初年次教育学会事務局  
Tel: 076-248-9584 FAX: 076-294-6701  
URL: <http://www.jafye.org/>  
E-mail: [fye-jimu@mlist.kanazawa-it.ac.jp](mailto:fye-jimu@mlist.kanazawa-it.ac.jp)

## 1. 事務局からのお知らせ【平成 23-24 年度役員構成について】

2011 年 8 月 31 日第 4 回大会（久留米大学）において開催された総会にて、以下のとおり承認されました。

会長：山田礼子（同志社大学）

海老澤信一（文京学院大学：第 5 回大会大会校

会長代行：川嶋太津夫（神戸大学）

理事 会長指名による）

### 理事（○は常任理事）

足立 寛（立教大学）

井下千以子（桜美林大学）

○岩井 洋（帝塚山大学）

○沖 清豪（早稲田大学）

川島啓二（国立教育政策研究所）

○川嶋太津夫（神戸大学）

菊池重雄（玉川大学）

○笹金光徳（高千穂大学）

杉谷祐美子（青山学院大学）

館 昭（桜美林大学）

中村博幸（京都文教大学）

成田秀夫（学校法人河合塾）

西 誠（金沢工業大学）

西村秀雄（金沢工業大学）

○濱名 篤（関西国際大学）

○藤田哲也（法政大学）

○藤本元啓（金沢工業大学）

安永 悟（久留米大学）

○山田礼子（同志社大学）

横山千晶（慶應義塾大学）

### 理事の担当分担

紀要編集委員会：・藤田（委員長） ・足立 ・

杉谷 ・成田 ・横山

研究担当：・濱名 ・井下 ・館

広報・情報化担当：・沖 ・中村

総務担当：・岩井 ・西 ・西村

年次大会担当：・笹金 ・川島 ・安永 ・海老澤

国際化ワーキンググループ：・川嶋 ・菊池

### 監査：

森下稔（東京海洋大学）

白川優治（千葉大学）

### 事務局体制

事務局長：藤本元啓（金沢工業大学）

事務局幹事：西村秀雄（金沢工業大学）

西 誠（金沢工業大学）

栃内文彦（金沢工業大学）

## 2. 事務局からのお知らせ【学会誌編集規程改正について】

学会誌編集規程が改正されました。詳細については学会ホームページ

<http://www.jafye.org/kisoku/henshukitei.html>

でご確認ください。主な変更点は、機関会員の投稿可能論文数を明示したことです。

## 3. 学会ウェブサイトの移転について

本学会のウェブサイトを設置していた国立情報学研究所の学協会情報発信サービスが終了すること(2012年3月末)に伴い、ホームページを以下のアドレスに移転しました。ブックマークの変更をお願いいたします。なお、従来のサイトにアクセスすると当面こちらに飛ぶことになっております。

<http://www.jafye.org/>

## 4. 第5回大会について

第5回大会は本年9月5-6日に東京の文京学院大学で開催予定です。現在準備委員会が鋭意企画などを検討中です。4月に入りましたら、大会のウェブサイトが公開される予定です。当サイトは学会サイトのトップページからご紹介しますので、随時ご確認ください。

## 5. 学生間の対話、そして大学間の対話 -明星大学初年次教育の特色と交流へのお誘い-

菊地滋夫(明星大学)

明星大学では、必修科目「自立と体験1」を柱として、多くの教職員が協力して全学的な初年次教育に取り組んでいます。ここでは、この科目の特色を簡単に紹介し、初年次教育に力を入れている大学の教職員のみなさまに交流へのお誘いをしたいと思います。

さて、「自立と体験1」の最大の特徴は、学部学科横断クラス編成の採用です。約30名の履修者からなる各クラスでは、全6学部(2012年度から新学部の開設により7学部となる予定)の学生が混じり合い、対話を重ねながら学習を進めていきます。授業の狙いは、学生一人ひとりが学生生活を有意義なものとするべく、それぞれの理想や目的について想いをめぐらせ、考えを始動させることです。そのためには、学生たちは、同質性の高い集団ではなく、できるだけ異なる考え方や価値観と触れ合う環境に身をおくことが理想的です。実際、学部学科横断クラスに対する学生たちの評価の高さは圧倒的でした。

また、自校教育によって、明星大学に学ぶ自分や仲間を誇りを持ち、自信をもって未来に向かって自ら歩み始めるのを、教職員一体となって導いていくことにも力を入れています。

この科目の導入にあわせて開設された明星教育センターでは、特任・常勤教員と職員が日々協力して、教案やポートフォリオ、教材等の準備、40数名の担当教員やTA/SAへの研修や相談、欠席の目立つ学生への対応など、重要な業務を幅広く担っているほか、事務局内の様々な部署が明星教育センターと連携して授業運営を支えています。明星大学にとって、1つの科目のために1年以上もかけて全学的に議論したことも初めてならば、これだけ多くの職員が運営に関わり、全学を挙げて取り組む授業もまた恐らく初めてです。「自立と体験1」を造りあげるプロセスとは、教職員が一体となった自己改革でもあることがわかります。さらに、TA/SAや履修者の声が授業の改善に大きく貢献していることから、教職員のみならず、

学生をも巻き込んだ本当の意味での全学的な改革の始まりであるとも言えます。ここに至るまでには、初年次教育学会関係各位からのご指導、ご助言がありました。この場をお借りして心より御礼申しあげます。

ただ、3年目を迎えるこの科目のさらなる充実は欠かせませんし、入学前教育やプレキャリア教育、キャリア教育などの適切な接合と分節化も図られるべきでしょう。これらの課題に立ち向かうためには、一大学内で悶々とするだけでは自ずと限界があります。打開へ向けて、大学間のいっそうの対話が必要だと痛感しています。わたしたちも、初年次教育に取り組む多くの大学の教職員のみなさまに、上記の授業の公開なども含めて、初年次教育に関する経験を率直にお伝えしたいですし、それに対するご意見やご助言を様々な角度からいただくことができればとてもありがたいと思います。

あるべき学生生活を構想するうえで、学生間の対話は非常に有効です。同様に、ユニバーサル・アクセスの時代にあつて大学が社会的責任を果たすうえでも、大学間の対話は有効なはずで、年に一度の学会は貴重ですが、その延長線上でもう少し交流の機会があれば、対話もさらに促進されることでしょう。下記までご連絡をいただければ幸いです。

【連絡先】 明星大学明星教育センター [mec@mec.meisei-u.ac.jp](mailto:mec@mec.meisei-u.ac.jp)

※メールを送信される際には、@を半角の@にしてください。

(本稿は学会サイトでの呼び掛けにお応えいただいたものです。他の会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。)

## その他 賛助会員による広告添付について

賛助会員には、年1回、会員への情報提供の際に、無料で1ページ分の広告添付が認められております。本学会ニュースレターはメールの添付ファイルとしてお送りしてまいりましたが、ファイルの大きさや未達などへの対応が問題となっておりました。そこで今回のニュースレターから、メール添付ではなく、学会ウェブ <http://www.jafye.org/newsletter/index.html> に本文（このファイル）および広告データを掲載することにいたしました。

なお、学会および学会事務局は、これらの広告内容に関与しておりません。

以上（編集 広報・情報化担当）

（2012年3月31日5. を一部修正）